

《知》意欲的に学び、課題に粘り強く取り組む児童
《徳》社会のルール・学校のきまりを守り、
礼儀正しく思いやりのある児童
《体》心身ともに健康で、命を大切にする児童

せんだん

珠洲市立上戸小学校
学校だより 第728号
令和7年11月21日

人権を大切にする心を育てる

上戸小学校長 寺井 純子

人権の根本にあるのは「相手を大切に思う気持ち」です。特別なことではなく、私たちの毎日の生活の中に息づいているものです。例えば、相手の話を最後まで聞くこと、名前を正しく呼ぶこと、困っていそうな人に声をかけること。こうした小さな行動も、実は人権を大切にするにつながっています。逆に、悪気はなくても、何気ない一言や態度が相手を傷つけてしまうこともあります。私自身も、日常の中で「もっと相手の気持ちを考えればよかった」と振り返ることがあります。人権を大切に行動することは、簡単そうでとても難しいものだと感じます。そんな小さな気づきを大切にしながら、みんなで温かい学校をつくっていったら嬉しいです。

本校には、友だちを思いやる優しい気持ちを持った子がたくさんいます。遅れてくる友達をそっと待つ児童、困っている友達に「大丈夫？」と手を差し伸べる児童。その一つ一つの行動が、学校を明るく温かい場所にしてくれています。これからも、「相手の気持ちを想像すること」を合言葉に、お互いを思いやる文化を、学校全体に広げていきたいと思っています。

地域公開行事

子どもに伝えるクラシックin上戸

12月5日(金)11:00～上戸小学校 2階音楽室

演奏者 ピアニスト 梯剛之(かけはしたけし)氏

<プログラム>

- ♪モーツァルト : ロンド ニ長調
- ♪モーツァルト : トルコ行進曲
- ♪ベートーヴェン : 月光ソナタ 1楽章
- ♪ショパン : 軍隊ポロネーズ
- ♪ドビッシェ : 月の光
- ♪ドビッシェ : 水の反映



東京生まれの梯剛之さん。幼いころに失明されましたが、豊かな感性とすばらしい演奏で世界を舞台に活躍されています。今回は「珠洲の皆様に音楽と光を届けたい」と、上戸小学校でのコンサート開催が決まりました。大変貴重な機会です。ぜひご来場ください。

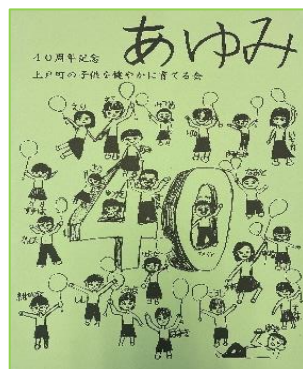
上戸町の子供を健やかに育てる会 40周年記念誌「あゆみ」について

令和6年2月25日(日)に開催を予定していた「上戸町の子供を健やかに育てる会 40周年記念式典」では、記念誌『あゆみ』の発刊を計画していました。しかし、能登半島地震の影響により準備を中断しておりました。

この秋、編集委員の皆さまのご尽力により、ようやく記念誌が完成いたしました。

先日、上戸地区のご家庭には、保護者の皆さまや「すこやか会」メンバー、公民館の館長さん・主事さんのお力をお借りして、全戸に配布させていただきました。すでにお手元に届いている方も多いことと思います。

もし、まだ届いていない方や、追加で欲しいという方がいらっしゃいましたら、上戸小学校、または上戸公民館までお知らせください。ご希望の方にお渡しいたします。



せんだんコンサート 11月6日

第2回せんだんコンサートを開催しました。今回も、校庭のせんだんの木の下で、全校児童が音楽の授業で学習した曲を演奏・合唱しました。1・2年生、3・4年生、5・6年生の順に発表し、1・2年生の可愛い姿、3・4年生のはつらつとした発表、そして5・6年生の美しいハーモニーに、地域・保護者の皆さまから温かい拍手が送られました。また、今回は学校運営協議会でのご意見を生かし、地域のキリコ太鼓や龍神太鼓の演奏も披露しました。子どもたちの迫力ある演技に、大きな拍手が送られました。最後には、参加した全員で1つの輪になって「もみじ」を合唱しました。せんだんの木の下に歌声が響き渡りました。



スーパーゴールデンタイム 11月7日

5・6年生企画による「スーパーゴールデンタイム」を実施しました。今回は、地域の皆さまと交流しながら楽しむ活動ということで、「スーパー」が付いています。ゲームは「タオルじゃんけん」。机を挟んで向かい合い、じゃんけんをして、勝った人はタオルを引き、負けた人はタオルを押さえて阻止するというシンプルながら白熱するゲームです。5・6年生が進行し、児童が交代しながら地域の方との対戦を楽しみました。ふだん一緒に遊ぶ友達とはまた違った、地域の方との交流に、子どもたちは「とても楽しかった!」と笑顔いっぱいでした。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。



珠洲市器械運動交歓会 11月11日

飯田小学校体育館において、市内の小学4年生約50人が集まり、器械運動交歓会が行われました。準備運動を兼ねたゲームを通して身体ほぐしができた後は、体育の時間に練習してきたマット運動の技（大きな前転・開脚前転・後転）を全員が披露しました。緊張した様子も見られましたが、どの児童も練習の成果を発揮し、しっかりと演技することができました。その後は、開脚後転や側方倒立回転など、これまでより難しい技にも挑戦しました。指導の先生の助言を聞きながら繰り返し練習するうちに、できる技が増え、自信もついていく様子が見られました。互いに見合い、刺激を受けながら、頑張る気持ちや技の向上につながる貴重な時間となりました。



石川県環境月間ポスターコンクール

最優秀賞 4年 鷲 初叶
優秀賞 4年 三上 寛太
入選 3年 吾郷 友梨奈 5年 紺谷 洸斗
6年 三上 逢海

石川県児童・生徒俳句大会

〔佳作〕
アマガエルかせつのまわりにぎやかだ 4年 寺下 蓮輝
〔入選〕
おねえちゃんとがっこういくよつゆのひも 1年 吾郷 健太
にいちゃんはなつかぜひいておやすみだ 1年 紺谷 莉愛
おかあさんのうめばしうまい真っ赤だよ 2年 加藤 優宗
青い海背びれぴちっととび魚だ 4年 三上 寛太
あじさいを1年生が育ててる 5年 紺谷 洸斗

明るい選挙啓発標語コンクール

〔石川県明るい選挙推進協議会会長賞〕
とうひょうび わかいちからで うごかそう 2年 中野 秀有司

未来へつむぐ家族への手紙コンクール

佳作
4年 三上 寛太・三上 宏

12月 行事予定

1日(月)	・全校朝会
2日(火)	・県評価問題(5年国語・算数)
3日(水)	・委員会(6限)4~6年
4日(木)	・読み聞かせ(1・2年)
5日(金)	・梯剛之ピアノコンサート(11:00) ・なわとび集会(13:30)
10日(水)	・集金日 ・薬物乱用防止教室(5限)5・6年生
15日(月)	・音楽の集い(午前、ラポルト)全年
16日(火)	・児童朝会
18日(木)	・読み聞かせ(1・2年) ・5限後下校
19日(金)	・5限後下校
24日(水)	・2学期終業式(午前) ・通知表渡し
25日(木)	冬休み ~1/7

1・2年生

秋といえば

ぼくは、せいかつでリースをつくっています。リースにかざりをつけました。なにでかざりつけたかという、あきのものでつけました。シールもつけました。リースがきれいになるとおもいます。

(吾郷 健太)

わたしは、あきといえば、ほしがきだともいいました。わけは、ろうせいかいのみなさんとかきむきをしたからです。ろうせいかいのみなさんと、なかよくかきをむいてたのしかったです。はやくたべてみたいです。

(紺谷 莉愛)

わたしが、あきだとも思うのは、むしです。あきは、オオカマキリやショウリョウバッタがよくいるからです。カマキリやバッタがすきなので、つかまえます。

(櫻井 結梨)

わたしは、おめんをあきのものでつくりました。おめんは、うさぎをつくりました。わけは、うさぎがすきだからです。きのみとか、はっぱをみつけてきてつくったからきれいにできてうれしかったです。

(瀬戸 葉月)

わたしは秋といえば、ほしがきづくりだと思います。わけは、ろうせい会の方としぶがきをむいたり、しょうどくをしたりして楽しかったからです。ほしがきができたら、食べてみたいです。

(一宮 美月)

秋といえば、ほしがき作りです。ほしがきをつるすのが一番楽しかったです。わけは、つるすときに、手が少しべたべたになっておもしろかったし、手をあらう時にいっきにべたべたがとれて気持ちよかったからです。

(加藤 優宗)

秋といえば、かきだと思います。この前、ほしがき作りをしたからです。ほしがきをおゆにつけるのが楽しかったです。かきをひもでしばりました。ほしがき作りはさいごだったけど、楽しかったです。

(中野 秀有司)

この前、ほしがき作りをしました。楽しかったです。いちばんすきなところは、3かいにあって、おゆにつけたかきをはこぶことです。らい年できないけど、二年生でできてよかったです。

(吉森 晴)

3・4年生

秋といえば

わたしが秋だなと思うものは、さつまいもです。弟のけん太が、大きなさつまいもを持ってきました。そして、やきいもにして食べました。食べてみるとほかほかしていて、おいしかったです。

(吾郷 友梨奈)

わたしが秋だなと思うものは、落ち葉です。夏はふつうに緑色の葉だけど、秋になっていくと色が変わるからです。秋が終わると冬だから、これから寒くなるんだと思います。

(角 珠々葉)

わたしは秋といえば、食欲の秋だと思います。給食の時間にはイベントの給食が出てきます。ハロウィン給食やお月見給食、他にも秋らしい給食がたくさん出てきます。私はハロウィン給食が一番好きです。

(三上 咲良)

ぼくは秋といえば、食欲の秋だと思います。秋は、くりやマツタケ、さつまいもなどがある、焼くといいにおいで、食べるととってもおいしいからです。ぼくが一番好きな秋の食べ物は、マツタケです。

(角野 晴隆)

5・6年生

秋と言えば

私が秋らしいと思ったのは、くりです。毎年秋になったら、おじいちゃん、おばあちゃんと家族みんなでくり拾いに行くからです。おばあちゃんの家のかくりは、においもあまいです。(柚 みつめ)

わたしは秋といえば、ハロウィンだと思います。おかしをもらうことができるので、楽しい行事だと思います。そのおかしを食べると何だか元気がわいてきます。(川端 純怜)

秋といえば、さつまいもです。さつまいもを見ると、気持ちがほかほかになるからです。食べると、さつまいもの甘さが口に広がります。家族みんなで食べたら、もっとおいしく感じます。(鷺 初叶)

ぼくが、秋らしいと思ったものは、くりです。ぼくは、たまにおじいちゃんとくりをさがしに、山へ行きます。素手でくりを触るとチクッとして、寒気を感じます。(三上 寛太)

ぼくが秋だと感じるのは、夕空です。夕日が輝く空の色は、だいたい色で、暗くなるにつれて色がこくなったり、うすくなったりしてきれいだと思ったからです。(寺下 蓮輝)

ぼくは秋といえば、かぼちゃだと思います。表面をさわってみると、ごつごつとしていたので、びっくりしました。かぼちゃスープを食べて、心をいやしたいと思っています。(中野 煌有司)

ぼくは秋といえば、スポーツの秋だと思います。理由は、バスケットの県大会があるからです。勝つのもすごく大事だけど、スポーツの秋なので、楽しくやりたいです。(吉森 心)

秋といえばさつまいもです。理由は、さつまいもを焼いた時の甘いにおいが好きだからです。そのにおいをかぐと、秋だなと感じます。今度サツマイモを使って、スイートポテトを作りたいです。(吾郷 梨愛奈)

秋といえばハロウィンです。ハロウィンの時にはみんなで仮装をします。ぼくはドラキュラの仮装をします。「トリックオアトリート」と言うとお菓子をもらえるので、ハロウィンが大好きです。(紺谷 洸斗)

秋といえばさつまいもです。私は、1・2年生の時に学校でスイートポテトを作りました。その時に作ったスイートポテトがとても印象に残っています。今度機会があればスイートポテトを作りたいです。(加須屋 依里)

秋といえばスポーツの秋だと思います。私たちは毎年秋に、県大会という大事な大会があります。その大会で優勝することが目標です。チームのみんなと協力して頑張ります。(三上 逢海)

秋といえば食べ物の秋だと思います。特にきのこです。最近、「さまつ」というきのこを食べました。とても大きくて驚きました。すき焼きにして食べたら、とてもおいしかったです。ぜひ、食べてみてください。(福田 彩蓮)

秋といえば金木犀だと思います。理由はとてもかわいいからです。金木犀には、白色とオレンジ色があります。私は白色が好きです。おばあちゃんの家近くに金木犀の木があったので、見に行きたいです。(谷内口 優月)